

2020-2021

日本語・日本文化研修留学生
報告書

日本語・日本文化レポート集

2021年9月

東北大学 高度教養教育・学生支援機構

言語・文化教育センター

日本語・日本文化レポート集

目 次

- ・無教会運動における内村鑑三の思想観についての考察

ユ ソン (YOO SEONG)

(韓国・翰林大学) (1)

- ・インドネシア人日本語学習者と日本語母語話者の間の女言葉男言葉に対する捉え方の違い

プスパラトゥ ウィディヤ (PUSPARATU WIDYA)

(インドネシア・ブラウィジャヤ大学) (17)

無教会運動における内村鑑三の思想観についての考察

ユ ソン (YOO SEONG)
(韓国・翰林大学)

1. はじめに

日本のプロテスタントは他宗教・他宗派と比べて広まらなかったが、日本社会に影響を及ぼせなかったかという点必ずしもそうではない。広範には支持されなかったものの、ある層には深く浸透していたと考えられる。特にその中心にあったのが内村鑑三の「無教会」である。無教会の考え方は戦後の一部の知識人の思想にも散見される。例えば、東京大学の総長を務めていた南原繁と矢内原忠雄、著名な経済学者であった大塚久雄、岩波書店創業者の岩波茂雄などにもこの無教会観が見られる。このように内村鑑三の無教会はエリート層を中心に広まっており、社会に及ぼした影響力は非常に大きかったと考えられる。したがって、「無教会」をみることで戦後から現在にかけての日本の社会の特徴を把握することができるのではないだろうか。本研究では内村鑑三の「無教会」とはなにかを日本思想史的側面から捉え、その本質はなにかを明らかにすることを目的とする。本稿では、まず内村鑑三の生涯を概観し、彼の思想はどのようなものだったかを考察する。

2. 先行研究

日本国語大辞典によれば、無教会とは次のようなものとされている。

内村鑑三に始まり、その門下の人びとに受け継がれたキリスト教の信仰と主張。洗礼、聖餐式、典礼など教会の制度を廃止し、神の言は聖書によってのみ与えられ、救いは信仰のみによるもの。¹

しかし、研究史上において無教会とは何か、その本質はどのようなものだったのかは様々な分野において研究されており、未だ十分に解明されていない。そこで、本題に入るに先立ち、先行研究をまとめる必要がある。先行研究においては無教会を捉えるためにその枠組みの仮説が提示されている。ここではそれらを確認する。

以下の分類は、赤江（2013）による分類であり、これを参照したものである。²

①「組織なき集会」仮説

戦後いわゆる内村論ブームが起き、主に無教会キリスト者を中心にさまざまな観点から無教会研究が行われた。ほとんどの無教会キリスト者の特徴は、無教会を組織のない集会だと認識しているということだ。彼らは、無教会を「先生」と呼ばれる伝道者を中心に集まる「集会」として理解

¹ 日本国語大辞典『無教会主義』

² 赤江（2013）：9～21

し、この集会は「組織ではない」ということを強調している³。こういったことがみられる文献と人物は以下の通りである。

- ・品川力（1977）『内村鑑三研究』荒竹出版
- ・品川力（1977）『内村鑑三研究文献目録』荒竹出版
- ・関根正雄（1976）『信仰と政治の根本問題』キリスト教図書出版社
- ・藤田若雄（1977）『内村鑑三を継承した人々(上・下)』木鐸社
- ・矢内原忠雄（1893～1961）
- ・中沢洽樹（1915～1997）

②「制度なき信仰」仮説

無教会の信徒数は正確に数えられない⁴。その理由として無教会には「統計の拒否」という傾向があり、公式の統計が存在しなかったということが挙げられる。無教会伝道者の高橋三郎は次のように述べている。

…無教会はその信徒の統計を取ること、きびしく拒否してきた。統計を取ること自体が、無教会精神の根本的否定だからである。これは内村の最も嫌った、勢力拡張への関心の表われであり、純粋に福音信仰の精神そのものを、固く守り抜こうとする本来の意図から、逸脱することになる。その上、信者の統計を取ることになると無教会人とそうでない人との間に、一つ基本方針からして、不可能なことである。⁵

高橋はここで信徒の統計を取ることを批判している。また無教会には「公的判断」や「境界線設定」はありえないと強調している。すなわち、無教会は制度のない信仰だと主張したのである。

③「ゼクテ」仮説

宗教社会学の導入につれ、「ゼクテ」仮説が浮上した。「ゼクテ(Sekte)」は、マックス・ウェーバー(Max Weber)が『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』で展開した教団類型論に由来する概念である⁶。ウェーバーはこれを「宗教上の有資格者だけに加入を許す自発的な団体」と述べている。つまり、「信団」や「結社」としての教会なのである。この概念を始めて訳して使った人物が大塚久雄である。

社会学者の内田芳明は、無教会主義をゼクテだと説明しており、「良心的人間類型」の集まりだ

³ 無教会史研究会（1984）『無教会キリスト教信徒を生きた人びと』、無教会史研究会（1991；1993；1995；2002）『無教会史』

⁴ Caldarola（1971=1978）：325

⁵ 高橋（1970）：192

⁶ Weber（1920=1989、1994）

と述べている⁷。

また、カルダローラは、「セクト(Sect)⁸」概念を通じて無教会を論じているが、神学者であるリチャード・ニーバー(H. Richard Niebuhr)が主張した「宗教組織の発展モデル⁹」を踏まえつつ、無教会はこのモデルにあてはまらないケースのひとつだと述べた。そして、無教会は「教派になることなく、何世代にもわたってセクト的な諸性質を保持している」と主張し、これを「無教会運動の非制度的性格」と呼んでいる¹⁰。

④「神秘主義」仮説

「神秘主義(Mystik)」は、エルンスト・トレルチ(Ernst Troeltsch)が付け加えた理論である。この理論は、個人の宗教的な経験を重んじる傾向があり、「根本的個人主義」および「反組織的志向の集団」というように特徴づけられる。澁谷浩は、無教会を「神秘的徹底的個人主義型」だと述べ、「直接的・内面的な宗教体験が重んじられ、信者同志の交流は思想の交換という精神交わり以上には出ない」¹¹と主張した。

⑤「紙上の教会」仮説

紙上の教会は、『聖書之研究』をはじめとする雑誌や刊行物などのメディアを重んじる理論である。赤江(2013)は、宗教的な観点からではなく、社会学からこの無教会を捉えており、中沢治樹(1969)「雑誌『無教会』について」、中沢治樹(1973)「初期における無教会集団の形成」を取り上げ、無教会において重要なのは、メディアだと述べている。これをまた個人主義と結び、「読者宗教」若しくは「教養宗教」と呼んでいる¹²。

3. 研究の方法

内村鑑三の無教会観は無論キリスト教思想が中心にあると言えるだろう。つまり、無教会観を見るにあたって、彼のキリスト思想を考察しなければならない。しかし、キリスト教思想が根底にあるとはいえ、それが全てだとは考えられない。仏教や儒教などの影響もあると考えられる。よって、キリスト教思想がどう土着していったのかを見る必要があると思われる。彼の思想は「接木型」だとよく言われている。接木型というのは、新しい思想が形成される際、以前持っていたある思想の上に新しい思想が形成されるということを意味する。つまり、二つ以上の思想が対立するのではなく、共存できるということである。且つ、内村は、科学的及び実験的な性格を持っている。自分が経験したことを基にし、自らの思想をつくっていったに違いない。したがって、彼の生涯を

⁷ 内田(1972) : 382

⁸ アメリカ宗教社会学の文脈へと翻訳された「ゼクテ」概念

⁹ 宗教的集団が単純な交わりからセクトを経て、教派、さらに制度教会へと進化するというモデル。赤江(2013 : 17)

¹⁰ Caldarola(1978=1978) : 321

¹¹ 澁谷(1974) : 71

¹² 赤江(2013) : 309

概観しながら、こういった事件を起点とし、どのような変化が起きたのかを考察することはこの研究において有効な方法だと思われる。

4. 内村鑑三の思想観

4-1) 武士道思想の形成（幼年期）

内村鑑三は、内村宜之とヤソの長男として1861年江戸に生まれた。彼の父、宜之は下級武士として生まれ、維新の革命に伴い、明治政府の官吏となり、高崎藩から移り、陸前国で勤めることになる。内村鑑三も無論高崎と陸前で育った。その後、東京に移り、東京外国語学校（のち東京大学予備門と改称）に入り、東京で暮らすことになる。

内村鑑三は父の影響を強く受けたとみられる。内村の自伝『余は如何にして基督信徒となりし乎』では、祖父を「典型的な武士」、父を「すぐれた儒学者」だと表現している。おそらく、2人の影響を受け、内村は儒学をはじめ、所謂「武士道」と言われている思想を持っていたと考えられる。

内村宜之には、儒教的合理主義があったと言われている。内村鑑三の著作の中で次のような文章が述べられている。

父は、異教の神々を、ことごとく少ばかにしていました。あるとき父は、寺の賽銭箱に、一枚のびた錢を投げ入れると、せせら笑いながら、そこの本尊に向かって、もし今進行中の裁判に、とにかく勝たせてくれるなら、もう一枚くれてやると言いました——まったく私の宗教生活を通じて、一度として思いもよらない振舞でありました。¹³

父の影響があったのか、内村鑑三には子供にしては信仰の深い様子が見られる。

私はまじめに信じていました。無数の神社には、それぞれの神が住し、その支配権の侵犯に心を配り、気に入らぬことをなす者は、だれであれ、ただちに罰するということであります。私が最も崇敬した神は学問の書道の神であり、毎月二十五日には、忠実に相応の潔斎をなし、供物を捧げる儀礼を行ないました。その像の前に額ずき、書道が上達し、もの覚えがよくなるようにと、熱心に嘆願したのであります。¹⁴

この神社は天満宮であり、菅原道真が祀られていた。ここで内村鑑三の日本の神々に対する信仰心や勉強に対しての熱心さをみることができる。内村鑑三の思想の根底にはこの所謂武士道がみられることがわかる。これは父の影響があったからに違いないだろう。

¹³ 内村鑑三（著）・鈴木範久（訳）（2017）：20

¹⁴ 内村鑑三（著）・鈴木範久（訳）（2017）：24

4-2) キリスト教への入信

内村は家が貧しく、北海道開拓使の勧誘に応じ官費支給の札幌農学校に第二期生として入学する。そこで内村は初めて信仰としてキリスト教と向き合うことになる。同校教頭であったクラークは札幌農学校の第一期生全員を入信させることに成功する。一期生は二期生をキリスト教に入信させることに熱心であり、無論内村にも強い勧誘があった。これに対して内村は拒否感があったようで、のちに内村はこの頃の考えを次のように回想している。

幼いころから私は、何よりも祖国を尊ぶこと、祖国の神々を拝して他の神々を拝してはならないことを教えられてきました。祖国の神々と異なる神に忠誠を誓うのは、たとえ死ぬ目にあわされても、できないと思いこんでいたのであります。外国に由来する信仰に入ることは、祖国の裏切り者となり、祖国の背教者となることでもあります。¹⁵

内村は父の影響により武士道思想を持っており、キリスト教を拒否していた。しかし、級友が次々と入信しており、結局周囲の強い圧力に負け、「イエスを信ずる者の契約」に強制的に署名させられ、翌年宣教師のハリスにより洗礼を受けることになる。

ここで確認しておかなければならないことは、内村が札幌農学校で出会ったキリスト教はどのようなものかということである。これはクラークが作成した「イエスを信ずる者の契約」によく表れている。

イエスを信ずる者の契約

ここに署名する札幌農学校の職員学生は、キリストの命じるところに従いキリストを告白すること、および十字架の死により我らの罪をあがなわれた貴き救い主に愛と感謝を捧げるためにキリスト者としてのすべての義務を真の忠誠をもって果たすことを願いつつ、また主の栄光のため、および主が代わって死にたもうた人々の救いのために、主の御国を人々の間に前進させることを熱望しつつ、ここに今より後、イエスの忠実なる弟子なるべきこと、および主の教えの文字と精神とに厳密に一致して生きるべきことを、神に対し、また相互に対して、厳粛に誓約する。さらに、ふさわしい機会があればいつでも、試験、洗礼、入会のため福音的教会に出向くことを約束する。

・我らは信ずる、聖書が、人に対する神からの、言葉による唯一の直接的啓示であり、来たるべき栄光の生に向けての唯一の完全で誤りのない手引きであることを。

我らは信ずる、我らの慈悲深き創造主、我らの義なる至上の支配者でまた我らの最後の審判者である、唯一なる永遠の神を。

・我らは信ずる、心から悔い、そして神の子イエスへの信仰によって罪の赦しを得るすべての者は、生涯にわたり聖霊によって恵み豊かに導かれ、天の父の絶えざる御心によって守られ、ついにはあがなわれた聖徒の歓喜と希望とが備えられることを。しかし福音の招きを拒むすべての者は、自らの罪の中に死に、かつ永遠に主の御前から追放されねばならぬことを。

我らは、地上の生涯にいかなる変転があっても、次の戒めを忘れず、これに従うことを約束する。

・あなたは、心を尽くし精神を尽くし力を尽くし思いを尽くして、主なるあなたの神を愛しなさい。また自分を愛するように、あなたの隣り人を愛しなさい。

¹⁵ 『余はいかにしてキリスト信徒となりしか』 p.29

- ・あなたは、生物・無生物を問わず、いかなるものの彫像や肖像を崇拜してはならない。
- ・あなたは、主なるあなたの神の名を、いたずらに口にしてはならない。
- ・安息日を憶えてこれを^{きよ}聖く守りなさい。すべての不必要な労働を避け、その日を、できるだけ聖書の研究と自分および他の人の聖い生活への準備のために捧げなさい。
- ・あなたは、あなたの両親および支配者に聞き従い、彼らを敬いなさい。
- ・あなたは、殺人、姦淫、不純、盗み、ごまかしをしてはならない。
- ・あなたは、隣り人に対して何の悪もしてはならない。
- ・絶えず祈りなさい。
- ・我らは、お互いに助けあい励ましあうために、ここに「イエスを信ずる者」の名のもとに一つの共同体を構成する。そして、聖書またはその他の宗教的書物や論文を読むため、話しあいのため、祈祷会のために、我らが生活を共にする間は、毎週一回以上集会に出席することを固く約束する。そして我らは心より願う、聖霊が明らかに我らの心の中であって、我らの愛を励まし、我らの信仰を強め、救いに至らせる真理の知識に我らを導きくださることを。

1877年3月5日、札幌にて、ウィリアム・スミス・クラーク

(2011年4月執事会改訂訳)

署名者は次の通り

黒岩四方之進・伊藤一隆・山田義容・佐藤昌介・内田澨・田之内捨六・中島信之・大島正健・渡瀬寅次郎・柳本通義・小野兼基・佐藤勇・安田長秋・出田晴太郎・荒川重秀・小野琢磨（以上一期生）・太田稻造・佐久間信恭・宮部金吾・足立元太郎・高木玉太郎・廣井勇・内村鑑三・町村金弥・南鷹次郎・藤田九三郎・村岡久米一・諏訪鹿三・岩崎行親・伊藤英太郎・伊藤鏗太郎（以上二期生）¹⁶

この頃、内村が信じたキリスト教は、キリスト教の神のみを信じ、規律を守り、努力してキリストのために熱心に働かなければならない信仰であった。内村は洗礼を受けた直後の心境を次のように記している。

洗礼を受けたからには、私たちは、新しい人間であると思いました。少なくとも、そのように思おうとし、そう見えるようにつとめたのであります。あとひと月たてば「新入生」という屈辱的な名とは縁が切れます。私たちの下に、若い兄弟たちがあらわれるので、いっそう大人びて、子供っぽい振舞いはやめなくてはならないと考えました。キリスト教徒であり、二年生であることは、行ないと学問との上で、非信徒や新入生の規範でなくてはならないと考えました。¹⁷

しかし、内村はキリスト教に入信したからといって以前持っていた武士道思想を捨てたわけではない。内村はキリスト教思想を中心にしつつ、武士道思想を一層深めていった。こういった思想の接木は、武士道の特定の面を拒否し、指摘もするが、逆にキリスト教に対しても同様であった。

内村は札幌農学校を首席で卒業し、北海道開拓使御用掛となり、働きはじめる。この頃、内村らは、北海道に教会をたてようとする。最初は金銭的な問題でアメリカのメソジスト教派に援助をもらうが、宣教師に拒否感を持っていた内村はこの金額を全額返済し、海外に頼らない独立教会にす

¹⁶ 札幌独立キリスト教会HPより、<http://www12.plala.or.jp/dokuritsu-kyokai/rekishu.html>

¹⁷ 内村鑑三（著）・鈴木範久（訳）（2017）：42

ることに成功する。おそらく、内村は武士道思想を持っていたので、アメリカの教派主義を拒否していたと考えられる。

私たちの聖なる仲間の数は、増加しつつあります。感謝。一つ残念なことがありました。それは、この小さなところに一つはイギリス教会宣教会、一つはメソジスト教会、という二つの教会を持つことが確かになったことであります。「主は一つ、信仰は一つ、バプテストマは一つ」ということを、心の中で考えるようになりました。キリストの共同体が、一つですら十分自立していけないのに、なんで二つ、別々に持つ必要があるのでしょうか。キリスト信徒として生活するようになってから、私たちは、はじめて教派主義(denominationalism)の弊害を感じたのであります。¹⁸

マックス・ウェーバーは、資本主義精神がアメリカのピューリタンから始まったと述べている。¹⁹当時アメリカでは、死ぬまでは自分が救われたか確認することができなかった。それで、人々はそれを確認するために一所懸命に働き、富を集め、富の蓄積ができると自分が救われていたと思っていた。その思想によって資本主義が発達したとマックス・ウェーバーは述べている。内村はこの資本主義による個人主義を嫌っていたのではないかと思われる。

内村は入信後、日本をより良い国としたいという願いを持っていた。この地でのキリスト教の不完全さを日本の武士道思想を通じて完成させたかったのではないだろうか。

4-3) 旧キリスト教文明国との出会い（第二の回心、アメリカ留学）

以降、内村は上京し、農商務省で働きはじめる。そこで、浅田タケと結婚したが、破れ、渡米を決心する。内村は渡米費用を工面するため、先ずはエルウィンの養護教育機関で働くことになる。彼は以降大学に入り、学問に励んでいく予定であった。鈴木範久（2012）は内村の脳裏にあった将来の職業への道を次のように整理している。

ペンシルヴァニア大学、医学・生理学

医師となるが、医師あるいは医学または生理学を通じて間接伝道する。

アマスト大学、教養

その後、神学校に進み、直接伝道の道に進むか、新島のキリスト教教育事業に協力する。

ハーヴァード大学、専門学

専門学を通じての間接伝道へと進む。²⁰

¹⁸ 内村鑑三（著）・鈴木範久（訳）（2017）：101

¹⁹ マックス・ウェーバー（著）・大塚久雄（訳）（1989）

²⁰ 鈴木範久（2012）：65~66

ここから見て取れることは、内村がナショナリズム的性格を持っていたことだ。彼の留学の最終的な目的は日本での伝道であった。日本を愛し、日本をより良い国としたいという希望が彼の思想の土台にあったのである。

その後、内村は奨学金などの問題もあり、編入という形でアマスト大学に入ることになる。ここで内村のキリスト教に対する思想が一変するが、これが「第二の回心」と呼ばれているものである。

内村はアマスト大学で学長シーリーの影響を強く受けた。内村は直接シーリー学長に授業を受けたことはなかったが、チャペルに出席すれば毎週会うことができた。彼はシーリー学長について次のように回想している。

私に、最も大きな影響を与え、私を変えたのは、偉大な学長自身でありました。彼がチャペルに立って、賛美歌を指示し、聖書を読み、祈りをする、それだけで十分でありました。私は、この尊敬する人を一目見るという、ただ一つの目的のためだけで、チャペル礼拝を一度も「カット」、つまり欠席しませんでした。彼は、神と、聖書と、何事をもなしとげさせる祈りの力とを、信じていました。

21

第二の回心以前の内村のキリスト教観は、「イエスを信ずる者の契約」を通じてみることもできた。行為を重視し、努力し、道徳的に生きていくことを強いられた。しかし、第二の回心を起点にその思想は一変する。

三月八日——私の生涯で非常に重要な日。キリストの贖罪の力が今日ほど明らかにあらわれた日はない。これまで、私の心をうちのめしてきた、あらゆる困難の解決は、神の子の十字架のうちになる。キリストが、私の負い目を贖って、墮落前の原人（first man）の純粹さと無垢とに私を戻すことができるのだ。いまや私は、神の子であり、私のなすべきことは、イエスを信ずることである。そのおかげで、神は、私の望むものをなんでも与えてくれるであろう。神は、その栄光のために私を用い、最後に天国で私は救われるであろう。²²

今までは自分の努力のいかんによって救われると考えていたが、この第二の回心によってそれは間違っていると思うようになったと考えられる。十字架の恵みによってイエスを信じている者はもう既に救われているという考えである。内村の「信仰の三段階」にはこの間の経緯がもう少し具体的に述べられている。

斯くして失望の極に達したる時余の場合に於てはアマスト大学前総理シーリー先生が余の指導者で

²¹ 内村鑑三（著）・鈴木範久（訳）（2017）：206

²² 内村鑑三（著）・鈴木範久（訳）（2017）：218

あつた、即ち人の義とせらるゝは行為に由るに非ず、信仰に由る事を余は始めて彼より教へられたのである。「汝の義とせらるゝは汝の努力に由るに非ず、汝自身如何に自己を聖めんと欲するも聖むる能はず、汝の義は汝自身に於てあるに非ず、汝の罪の爲め其身を十字架に釘けられ給ひしかの主イエスキリストに於てあるなり、故に自己の努力を抛棄し唯彼を仰ぎ見よ、然らば救はれん」と、此事を知つて余の重荷は忽ち余の双肩より落ちたのである。²³

しかし、キリスト教文明国にて失望したこともあると思われる。実際に内村鑑三はアメリカに対して「最大の闇が最大の光と共存している」と良く述べていた。おそらく、上述した資本主義による個人主義などが主要な原因であろう。内村はアメリカを旧文明国だと称している。アメリカの不完全さを確認し、日本に可能性があることを確信し、日本を新キリスト文明国としたいという希望を持っていたのではないだろうか。

歴史は人類進歩の記録なり、此進歩を扶助せしもの或は之を妨害せしものが歴史的人物或は歴史的国民なり、チャーレマンは文明の進歩を助け、アチラは之を妨げたれば同じく歴史的人物の名称を受くべし、国民に於けるも亦然り、其物自身にて完全なる国家あるなし、国民あるなし、国民の歴史は人類歴史の一小部分たるに過ぎず、国民は滅亡に帰するも歴史的に生存することあり、一国民興り人類全体に対する其特質と所得とを以てし而して亦之を後進の国民に譲る、国民各々世界に供すべき寄贈物ある、国民は失す、然れども永久に渉るべき其印刻は決して消へず。²⁴

アマスト大学を卒業した内村は、ハートフォード神学校にも入るが、間もなく退学し、日本を良い国にしたいという所謂「愛国的キリスト教」思想を持って、帰国を決心する。

4-4) 不敬事件

帰国した内村は、新島襄から新潟のキリスト教主義学校に教頭として就任依頼の受け、北越学館で教師としての活動を始める。しかし、北越学館は宣教師の援助をもらっていた。内村のアメリカ滞在中、一度北越学館の赴任の依頼を受けたことがあるが、宣教師から独立できないと判断し、断っていた。それで、内村の仕事は伝道ではなく、教育に限られているところがあった。これを不満に思った内村は宣教師と衝突し、辞職することになる。

その後、水産伝習所の教員を経て、第一高等中学校の嘱託職員となる。だが、赴任した年に「教育二関スル勅語」が發布され、これにより、所謂「不敬事件」が起きてしまう。不敬事件については国語大辞典による説明を引用する。

内村鑑三が「教育勅語」の天皇の署名（宸署）への礼拝を拒否したため、職を追われた事件。明治二十四年（一八九一）一月九日、第一高等中学校では、その前年の十月三十日に發布された「教育に

²³ 内村全集24：140

²⁴ 内村全集3：83

関する勅語」の捧読式を行い、参列した教員・生徒はつぎつぎに勅語の宸署に礼拝した。そのなかでひとり、同校嘱託教員であった内村は、キリスト者としての信念から偶像崇拝を拒否すべきであると考へ、やや頭をたれたのみで礼拝しなかった。かれのこの行為は、同僚・学生・ジャーナリスト・国家主義者たちのはげしい非難を招き、内村は、そののち友人をたてて代拝してもらったにもかかわらず、二月三日、依願解嘱のかたちで職を追われた。そのようにこの事件は、帝国憲法と教育勅語による天皇の神権化が始まった時期の、天皇制とキリスト教の対決を象徴する事件となった。これより六年間、内村は、国賊・不敬漢という悪罵に包まれながら、大阪・熊本・京都・名古屋などの各地に苦難の流浪生活を送ることを余儀なくされ、友人たちの保護によって辛うじて生命をつないだが、この迫害にたえることでかれの信仰は一層深まったとされる。またこの事件に際して横井時雄・植村正久らは、活発に抗議活動を行なったが、それらをきっかけとしていわゆる「教育と宗教の衝突」論争が起り、各地でキリスト教徒が迫害されるとともに、キリスト教は次第に天皇制と妥協してゆくこととなる。

奉読式に内村以外のキリスト教教員は来ていなかったし、内村自身も籍を残していた札幌独立教会を脱会したことから、既に結果を知っていたのではないかと思われる。彼は日本を新キリスト教文明国にするため、奉読式に参加した。しかし、「礼拝的低頭」を迫られ、この不敬事件が起きたのではないかと思われる。この事件により、内村は疲弊してしまう。仕事は解任され、健康が悪くなり、国賊に迫られ、キリスト教からも迫害を受け、やがては妻の加寿子も急死してしまう。これにより内村は悲しさと虚しさを感じたと思われる。実際はじめて「無教会」という言葉が出てきたのもこういった背景があったからであろう。

余は無教会となりたい、人の手にて造られし教会今は有するなし、余の慰むる賛美の声なし、余の為に祝福を祈る牧師なし、²⁵

内村は、ここで無教会を「教会のない」状態だと表している。おそらく、教会から批判されたことへの反発がこもっているであろう。彼は教会の外でも礼拝はでき、神に学ぶこともできるといった。そして、こう主張したのである。

あゝ 嗚呼神の教会を以て 白壁 又は 赤瓦 の内に存するものと思ひし余の拙なさよ、神の教会は宇宙の如く広く、善人の多きが如く多し、余は教会に捨てられたり而して余は宇宙の教会に入会せり。²⁶

一般的な教会には属していないが、宇宙の教会に属することになったと捉えられるのである。これが本当の教会であり、組織や建物などに囚われないと表明する。

内村は不敬事件後、全てを失ったと言っても過言ではない。以降、彼は伝道者として生きるが、内村がそれほど明確に世間を批判することができたのは、不敬事件によって全てを失い、これ以上

²⁵ 内村全集2：36

²⁶ 内村全集2：33

失うものがないと考え、真のキリストの教えを説くことができたからではないだろうか。他のキリスト者は世間と妥協してしまい、気づけないこともあり、教えられなかったこともあっただろう。内村は他のキリスト者と異なり、それができたため、知識人の共感を得られたのではないだろうか。

4-5) 社会改良活動

その後、大阪の泰西学館、熊本英学校などを転々とし、京都で著述に没頭した。『基督信徒の慰』、『求安録』、『余は如何にして基督信徒となりし乎』、『日本及び日本人』（のちの『代表的日本人』）などがこの頃の著作である。

この中で、『代表的日本人』では、内村が何故日本に希望を感じていたのかをみることができる。内村は代表的日本人として西郷隆盛、上杉鷹山、二宮尊徳、中江藤樹、日蓮この5人を挙げている。彼らの共通点は、武士道思想を持っており、天の声を聞こうとしたことである。こういった神に近づこうとする精神が日本にはあったため、内村は日本に新キリスト教文明国としての希望があると考えていたと思われる。

これに対し、内村は天の声を聞くことは容易ではないと述べている。これもまた内村の重要な思想となるため、引用しておこう。

天職発見の途

己が天職を知らんと欲する者多し、言ふ、我にして若し我が天職を知るを得ん乎、我は我が全力を注ぎて之に当たらんと。

人よ、汝は汝の天職を知るを得るなり、汝は容易に発見するを得べし。

汝の全力を注ぎて汝が今日従事しつゝある仕事に当たるべし、然らば遠からずして汝は汝の天職に到達するを得べし、汝の天職は天よりの声ありて汝に示されず、汝は又思考を凝らして之れを発見する能はず、汝の天職は汝が今日従事しつゝある職業に由つて汝に示さるゝなり、汝は今や汝の天職に達せんとして其途中に在るなり、何ぞ勇気を鼓舞して進まざる、何ぞ惰^{ふけ}怠に耽りて天職発見の時期を遅滞せしむるや、知者あり、曰く

凡て汝の手に堪ることは力を尽くして之を為すべし

と（伝道之書九章十節）、此外別に天職発見の途あるなし、平々坦々たる途なりと雖も其終点は希望の^{まち}邑なり、感謝と歓喜との^{みやこ}京城なり。²⁷

内村は自分自身に与えられた天職は既に従事しつつあることだと述べている。したがって、彼は現在従事しつつあることを疑わず、熱心に励むことが望ましいと思っていたと考えられる。

以後、内村の文献には日本の政治に関する言及が多くなる。上記した思想を持って、日本の社会を改良したかったのに違いないだろう。特に、西洋化により、変わりつつある日本を批判するよう

²⁷ 内村全集20：108

な文献が多くみられる。内村の批判は学生を中心に段々支持を得ていった。それにより彼は社会改良のためのジャーナリストとしての使命感を感じ、『万朝報』の英文主筆として働くことになる。

内村は『万朝報』で働いていた際、幸徳秋水、黒岩涙香などの同社社員と「理想団」という社会改良のための集団を結成する。これにより、内村が社会改良を目指していたということが明らかになるだろう。

理想団宣誓

社会人心の腐敗墮落、年に月に甚だしきは何人も認めて而して慨嘆する所なり。之を救ふの道は人々自ら正くして以て人及ぼすに在り、此の理は何人も知る所なりと雖も個々分立するが為に、以て大勢に抗するに足らず、今日の急は先づ此の分立する者を合して一団の勢力と為すに在り、是れ理想団に興る所以なり。時世を憂ふる者、来りて相共に社会救済の原動力たるを期せよ。

しかし、理想団は各々望む社会改良の方法は異なっていた。理想団の堺枯川はこれに対し、次のように述べていた。

内村君は「個人を作らねば駄目だ」と云ふ。安部君は「個人を作ると共に社会の組織を改めねばならぬ、社会の進歩は人が両足で右ひだり一歩づゝ歩く様な者で、個人が一歩前に進んで社会組織を率ゐる時もあれば、社会組織が一歩前に進んで個人を導く時もある」と云ふ。安部君の談話の跡で、内村君が安部君に向つて、「総て賛成です。只、あなた方が汽車や鉄道を作る時に私はダイナマイトを詰込んでトンネルを作つて置かうと云^{いふ}のです」と笑ひながら云ふのを聞いた。²⁸

内村の思想には「個人主義」がみられる。澁谷浩（1988）はこの個人主義を無教会の本質だと述べているが、筆者も現時点では同じくこの個人主義が重要だとみている。内村は社会改良を果たすためには、個人が変わるべきだと述べていた。彼は『万朝報』に「国家と家庭と個人」と題する文章を載せていた。

国家と家庭と個人

善き政治が有つて善き社会があるのではない、善き社会が有つて善き政治があるのである、社会は本質であつて、政治は之を外に顕はす表皮に過ぎない、……

善き社会が有つて善き家庭があるのではない、善き家庭が有つて善き社会があるのである、社会とは家庭が相集て造るものであつて、社会とはより大なる家庭と称ふが適當であらうと思ふ、……

善き家庭があつて善き個人があるのではない、善き個人があつて善き家庭があるのである……

改革は先づ個人を以て始まらなければならない、一人の善人を作りし者はそれだけ国家を改造せしものである、然るに之を為さないで、政治を論じ、社会を云々する者の如きは、之単に空中に夢想を

²⁸ 『万朝報』1902年4月3日

画く者であつて、如斯き者は其國務大臣たると代議士たるに關はらず、太平洋の底に沈めて了ひたきものである。²⁹

澁谷浩（1988）は、内村の個人主義思想が儒教の經典の一つ『大学』と類似していることから彼の思想が儒教から来ているのではないかと指摘している。これが成立するのであれば、内村の思想は武士道思想とキリスト教思想がある程度合致している思想だと言えるだろう。

のち内村は、より自由に活動をするため、『万朝報』を脱会し、『東京独立雑誌』をはじめ、『聖書之研究』、『無教会』などの雑誌を創刊する。『万朝報』での活動を通じて数多くの読者を得たため、内村は順調に執筆活動が続けることができた。『聖書之研究』と『無教会』で内村は本格的に自分の思想を説くようになる。彼の重要な思想である「非戦論」と「無教会」もこの雑誌を通じて広まったと思われる。特に内村は若者から熱烈な支持を得ていた。以後、それをきっかけにし、「教友会」、「柏会」、「白雨会」なども行い、若者育成にも力を注いだ。

4-6) 再臨運動

内村の思想は、晩年娘ルツの死によってまた一変する。これまでは現世が中心だったとみられるが、ルツの死後には来世を中心に語っていると思われる。彼は告別式で次のように述べていた。

今日の此式を私共は葬式とは見做さないのであります、今日の此式は是れルツ子の結婚式であります、私共彼女の両親は今日私共の愛する娘を天国に嫁入さするのであります。³⁰

内村は、この事件により現世への野心が消えたと述べている。次にもう一度引用しておくにしよう。

余は余に残りしすべての野心をルツ子の^{なきがら}亡軀と共に彼女の墓に葬つた、余は其れ以前に既に大抵の野心は之を葬つた積りである、政治的野心、文学的野心、科学的野心、社交的野心は業に己に之を葬り去つたつもりである、然し余にまだ野心が残つて居つた、宗教的野心、聖書の野心、伝道的野心、善行的野心とも称すべき者が残つて居つた、日本国に使徒時代の純潔無垢の基督教を供し呉れんとか、最も完全なる日本訳聖書を後世に遺さんとか、更らに大善を行つて多くの人を救はんとか云ふ野心はまだ確かに余の心に残つて居つた、余は^{すくな}尠からず是等の野心に由て余の心を悩まされた、余に此世の野心は無かつたつもりであつたが、然し余は決して全く幸福なる者ではなかつた。

然しルツ子の永眠に由て余の心に残りし是等の野心は全然取去られた、余は全く無野心の者とたつ

²⁹ 内村全集8：455

³⁰ 内村全集19：33

た。³¹

不敬事件と妻加寿子の死により、「政治的野心」、「文学的野心」、「科学的野心」、「社交的野心」が消え、娘ルツの死により、「宗教的野心」、「聖書の野心」、「伝道的野心」すらも消えたといふ内村は述べている。

以後、内村はキリストイエスの再臨を説き、再臨運動を展開していく。社会改良運動をしてもこの世は完全にならないと彼は考えたのではないだろうか。娘ルツの死を契機にし、今までのあらゆる野心が消え、キリストの再臨すなわち来世こそが唯一の完全な世界だと信じていたのではなかろうか。

5. 結論

内村鑑三の思想は数多くの経験を経て、変化を重ねてきた。幼年期には、父の影響により、日本の神々に対する宗教的信仰心と所謂武士道思想を覚え、ナショナリズム的性格が形成された。札幌農学校時代にはその上にクラークの「イエスを信ずる者の契約」からみられるキリスト教思想が形成され、のちの「第二の回心」を通して愛国的キリスト教思想が完成された。以後、不敬事件を経て、政治的野心、文学的野心、科学的野心が消え、伝道的野心、宗教的野心のために伝道活動を行う。これには旧キリスト教文明国のアメリカでの経験を通じて、日本を新キリスト教文明国にしたいという希望がみられる。社会改良の使命感を果たすために活動をしていたと考えられる。晩年には、娘ルツの死によって、宗教的野心も消え、後世への希望を抱くようになり、再臨運動を展開していく。

無教会は不敬事件後の京都時代から始まるため、その時代からの内村の思想をみる必要があると思われる。この時代の内村の思想は、明らかに「愛国的キリスト教」と「伝道的野心」を土台とした「社会改良」が中心であったと言えるだろう。その社会改良の方法として、「個人主義」を挙げることができる。内村は社会を変えるためには個人が変わらなければならないと主張した。これは内村が持っていた武士道思想から始まったと推定され、また不敬事件を経て、寂しさを身をもって感じ、一層深まったのではないと思われる。内村は雑誌「聖書之研究」と「無教会」で無教会について良く言及していた。その中で有名な文章を次に引用してみる。

「無教会」と云へば無政府とか虚無党とか云ふやうで何やら破壊主義の冊子のやうに思はれますが、然し決して爾んなものではありません、「無教会」は教会の無い者の教会であります、即ち家の無い者の合宿所とも云ふべきものであります、即ち心霊上の養育院か孤児院のやうなものであります、…（中略）…さうして世には教会の無い、無牧の羊が多いと思いますから茲に此小冊子を発刊するに至つたのであります。³²

内村は無教会を「教会のない者の教会」と述べている。内村は個人を重視し、個人一人一人を

³¹ 内村全集21：190

³² 内村全集9：71

内村のキリスト教思想を通して回心させようとしたのではないだろうか。不敬事件後の自分自身の
ような者を回心させ、その個人が集まると社会が変わっていくと考えていたのではないだろうか。
そういう人々が集まるところがこの教会のない者の教会である無教会だったのではないだろうか。
そういった意味で無教会においてこの個人主義は重要だと推定される。

6. おわりに

内村鑑三は戦争が多発していた時代にも、かたくな「非戦論」を説破していった。その思想が内
村の弟子や無教会信徒などに引き継がれ、現代までもその影響が及ぼされているのではないかと思
われる。そういった背景で、戦後、数多くの内村鑑三の研究が行われた。本稿での研究方法はこの
時代に頻繁に使用されていた所謂「伝統的な方法」であった。しかし、時間が経つにつれ、内村の
研究は段々少なくなっている。こういう変化に即して、現在の内村鑑三の研究者は新しい研究方法
を求めているのはどうかと個人的に考えてみる。

今回、内村鑑三の「武士道思想」に触れてみた。しかし、武士道という言葉は、内村自身が著作
の中で使用していたが、この思想はどういう思想か考察するところまでは考えが及ばなかった。内
村の武士道思想はどのようなものなのかを考察するためには、幼年期の高崎と東北時代の内村の思
想をみなければならない。しかし、内村鑑三の研究は多いようにみられるが、この時代においては
十分にされていない。

こういうことを踏まえ、今後は今まで十分にされていなかった内村の武士道思想の形成過程を高
崎と東北時代の思想を通して考察していきたいと思う。後の内村の著作と内村宜之などの周囲の
人々の文献を比較することで答えを導き出すことができると期待される。

論文というものは、「個性」を持たなければならないものだと考える。他人の考えではなく、自
分自身の個性的な考えをはっきり示さなければならない。今回は、個性を出すことはできなかった
が、これから新しい観点からの研究を重ね、自分自身の個性を出したいと思う。

7. 参考文献

- ・ 赤江達也 (2013) 『「紙上の教会」と日本近代』 岩波書店
- ・ 今高義也 (2020) 『内村鑑三の世界像』 ペリカン社
- ・ 内村鑑三 (1939) 『求安録』 岩波文庫
- ・ 内村鑑三 (1950) 『基督信徒の慰め』 岩波文庫
- ・ 内村鑑三 (1980～1984) 『内村鑑三全集』 全40巻 岩波書店
- ・ 内村鑑三 (著)・鈴木俊郎 (訳) (1950) 『余は如何にして基督信徒となりし乎』 岩波文庫
- ・ 内村鑑三 (著)・鈴木範久 (訳) (1995) 『代表的日本人』 岩波文庫
- ・ 内村鑑三 (著)・鈴木範久 (訳) (2017) 『余はいかにしてキリスト信徒となりしか』 岩波文庫
- ・ カルロ・カルダローラ (1978) 『内村鑑三と無教会』 新教出版社
- ・ 澁谷浩 (1988) 『近代思想史における内村鑑三』 新地書房

- ・鈴木範久（1984）『内村鑑三』岩波書店
- ・鈴木範久（2012）『内村鑑三の人と思想』岩波書店
- ・関根正雄（1967）『内村鑑三』清水書院
- ・マックス・ウェーバー（著）・大塚久雄（訳）（1989）『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』岩波書店
- ・札幌独立キリスト教会HP（2011）「イエスを信ずる者の契約」＜<http://www12.plala.or.jp/dokuritsukyokai/rekishi.html>＞（参照2021年5月26日）

インドネシア人日本語学習者と日本語母語話者の間の女言葉男言葉 に対しての捉え方の違い

プスパラトゥ ウィディヤ (PUSPARATU WIDYA)
(インドネシア・ブラウィジャヤ大学)

1. はじめに

インドネシア人日本語学習者はアニメや漫画といった作品をきっかけとして日本語を学習しはじめる人が多い。しかし、作品で用いられた日本語はステレオタイプのである。例えば、女子高校生キャラクターはどのような発言をするかが決まっている。それにもかかわらず、作品で用いられる日本語を実際の会話で不注意に使うインドネシア人がある。作品で女子キャラクターが発言したセリフを、インドネシア人男性が使ったり、話し相手と場面をあまり考えずに使ったりすることはよくあることである。つまり、インドネシア人日本語学習者は、日本語が性別によって表現が異なる場合があることがあまり理解できていないと考えられる。

このように、日本語を学ぶにあたって、日本語を母語としている人が性別による言葉遣いの違いについてどう思っているかについては大変興味深い問題である。日本語母語話者は日常会話で性別による表現を実際どのように使っているか、また、日本語母語話者の性別による言葉遣いの違いに対する意識は、日本のアニメや漫画をきっかけとして日本語を学習し始めるインドネシア人の意識とどのように違うかが疑問になる。

2. 研究背景

日本は高度な技術開発のみならず、アニメーションや漫画など、豊富で魅力的なサブカルチャーを持っている国として知られている。これによって日本に興味を持つようになった外国人が少なくないであろう。技術開発をきっかけとして興味を持つようになる外国人がいる一方で、サブカルチャーから興味をもつようになる外国人も多くいると考えられる。

インドネシアでは、主にアニメや漫画をきっかけにして日本語を学習し始める現象が見られる。筆者の周りに、アニメが好きだからという理由で日本語を学習している者は少なくない。しかし、アニメ、漫画等からの影響が強いと、作品に出てきた日本語をそのまま使ってしまうことがある。それだけでなく、アニメや漫画で使われる日本語が、実際の日常会話で話されるものと同じであると認識してしまう学習者がいる。

アニメや漫画等で使われる日本語はステレオタイプのだと感じられる。例えば、文末に「～わよ」、「～のよ」、「～だぞ」等が多く使われる。文末詞の他に、一人称（例：私、あたし、俺、お前、あなた、等）も性別により、区別して使われることが多くある。このため、アニメや漫画から日本語を学ぶインドネシア人の中には、日本語は表現が性別によって使い分けられており、それに従って使わなければならないと認識してしまう学習者もいる。

では、作品によく使われる日本語と実際に話される日本語は実際どのように違うのだろうか。日常生活を扱う作品であれば、実際に使われる日本語と違いはないのではないかと。しかしながら、「～わよ」や「～のよ」を使うかどうか日本人の女性の友人に聞いたところ、「それは女の人がいそうな表現なんだけど、実はあまり使わない。てか、私使ったことない。」と言われた。つまり、漫

画やアニメをはじめ、日本のポップカルチャーやメディアなどを日本語学習のきっかけとするインドネシア人日本語学習者にとっては、日本語の表現の性別についての説明不足の状況が続いていると言える。そのことが原因で彼らは日本語コミュニケーションにおいて不自然な日本語の使い方をしてしまう傾向があると思われる。ここで疑問に思われるのは、母語話者は性別による表現、つまり女言葉男言葉に対してどういう風に理解しているかということである。また、アニメや漫画をきっかけとしたインドネシア人日本語学習者と、女言葉、男言葉に対する意識がどう違うかも疑問な点の1つである。本稿の目的は、日本語母語話者が女言葉男言葉をどう思っているか、それに対して、アニメや漫画をきっかけとしたインドネシア人日本語学習者は女言葉男言葉をどう理解しているかを明らかにし、インドネシアの日本語教育の発展に役立っていることである。

3. 先行研究

3.1. 役割語について（金水（2003）と山口（2007）の主張）

日本語は、多くの表現を用いる言語である。その中に、性別的に区別される表現が存在する。それはいわゆる、女言葉男言葉と呼ばれている。女言葉男言葉については、金水（2003）によると役割語に所属しているという。金水は役割語について次のように述べている。

ある特定の言葉遣い(語彙・語法・言い回し・イントネーション等)を聞くと特定の人物像(年齢、性別、職業、階層、時代、容姿・風貌、性格等)を思い浮かべることができる、あるいはある特定の人物像を提示されると、その人物がいかにも使用しそうな言葉遣いを思い浮かべることができる、その言葉遣いを「役割語」と呼ぶ。(金水 2003: 205)

それに加えて、金水（2003）と山口（2007）は、役割語を大衆的フィクションの語り(narrative)で用いられるヴァーチャルなことばとしてとらえている。すなわち、役割語は作品内での特徴だと考えられている。例えば、「わしの考えはこうじゃ」と独特な博士語を話す登場人物があるという。これに対して、金水（2003: 46）はそのセリフを言った話し手は現実の中で出会う人物を直接指し示すのではなく、物語の構造の中で特定の役割を与えられた人物であったと述べた。その捉え方に賛成する姿勢を表す山口（2007: 23）は、役割語は物語の記号として特徴づけた。

物語の記号として特徴づけた上で、山口（2007: 23）は役割語についてさらに次のように説明する。役割語を話すことにより、ある登場人物はどのようなキャラクターなのかをステレオタイプの把握することができる。その分、作者も読者もストーリー展開に集中できる。つまり、役割語は通り一遍なステレオタイプの把握になろうとも、物語を効率よく提示するという巨視的伝達の要請に裏づけられているのだという。

ここで、巨視的伝達という用語が出たが、山口（1998; 2005 を参照）は作品と役割語の関係を次のように説明する。役割語を作品内で使用することにより、2つのコミュニケーションが起こると言える。それは、作品世界内の登場人物同士のやり取り（微視的コミュニケーション・microcosmic communication）と作者から、作品の小世界の枠を超えるものである読者への伝達（巨視的コミュニケーション・macrocosmic communication）である。金水（2011: 29）によると、登場人物のセリフは対話者に向けられると同時に、それを聞いている格好の観客にも向けられている。つまり、登場人物のセリフは、それを通して、観客が無理なく理解できるように発せられねばならないと考えている。

3.2. 役割語について（定延（2006）の説）

しかし、定延（2006）は金水（2003）や山口（2007）と違う意見を持っている。役割語はフィクション作品内だけで用いられるだけでなく、日常会話やインターネット上でも多く使われることがあると述べている。例えば、「～でちゅ」という幼児がしそうな話し方が、恋人同士が甘えて話すときにも使われることがある。ここで、定延（2006： 118）は「(発話)キャラクタ」という概念を導入した。定延は「キャラクタ」について次のように述べる。

実際に私たちが場面や相手に応じて多かれ少なかれ変えているにもかかわらず、「場面や相手によって変わらず、ちょうど身体のように安定していて、一人に一つしかいない」とみなされているもの。〔中略〕これを態度やスタイル、人格や身体と区別して、仮に「キャラクタ」、適宜略して「キャラ」と呼んでおこう。（定延 2006： 118）

上記には「キャラクタ」の他に、「態度・スタイル」、「人格」、「身体」という用語が見られるが、定延は心理的な面からみて役割語を定義していると言えよう。

3.3. 女ことばと日本語について（中村（2012）の思想）

『女ことばと日本語』の中で、中村（2012）はそれらの関係についての思想を述べている。中村（2012）によると、女ことばの誕生ははっきり分からずとも、鎌倉時代からマナー本というものがあったという。そのマナー本は、当時の女性向けと男性向けがあったが、女性向けのものは言葉遣いについても書かれていたらしい。すなわち、発言から「女らしさ」をどう表していくかが含まれていた。

しかし、時代とともに、求められる「女らしさ」が変わってくると言われており、女性の言葉遣いについてのマナー本があったとしても、当時の女性たちが全員必ずしも女らしい言葉遣いを使っていたわけではないだろう。当時の社会における会話の録音がないのではっきりしたことは言えないが、会話に入るとやはり場面、話し相手、話す目的に応じて話し方が変わっていたと思われる。

また、女ことばについての習得方法として、メディアが大きな役割を果たしているという。美しい女優さんなどがテレビなどで「キャラ付け」として多く使われるのを見て、それは女ことばだと意識するようになる。筆者の考えは、中村（2012）は男女別による表現は実際に使われていても、テレビ番組などのメディアで多く用いられるイメージが強いと考えており、金水（2003）と山口（2007）の捉え方に近い。

3.4 まとめ

今までの説明で、女言葉男言葉は役割語の一種であることが分かった。しかし、この役割語について、意見が分けられた。金水（2003）と山口（2007）によれば、役割語は大衆的フィクションで用いられると述べている一方、定延は作品外でも役割語は多く用いられると発表した。

それに加えて、中村（2012）はジェンダーによる表現の誕生は不明だが、鎌倉時代からマナー本という資料があると述べている。その本は、当時の日本社会で求められる男らしさと女らしさが書

かれたと言われている。そのうちに、発言による「女らしさ」もマナー本の内容になると言われている。

最後に、女言葉男言葉を含め、役割語は作品内外で用いられる。しかし、中村（2012）によると話者の性別のみを考える上の会話は難しい。女言葉男言葉が存在しても、会話の際はやはり会話相手や話す目的などにより、話し方が変わるという。

4. 研究方法

本研究のために、先行研究を参考にしながら調査を行った。また、本調査を行う前にパイロットスタディーを行った。実施の詳細は次の通りである。

4.1. パイロットスタディー実施方法

実施方法：Google Form（オンライン）

実施期間：2020 年 11 月 22 日～25 日

対象：インドネシア人日本語学習者（10 名）

調査内容：女言葉男言葉の区別

4.2. 本調査実施方法

実施方法：Google Form（オンライン）

実施期間：2021 年 7 月 15 日～19 日

対象：インドネシア人日本語学習者（18 名）

日本語母語話者（12 名）

どちらも 10～20 代の年齢で、インドネシア人回答者の場合日本語学習期間が一年以上か、JLPT N2 合格者

調査内容：女言葉男言葉の区別と使用についての意識

5. アンケート調査の結果とその分析

5.1. 女言葉男言葉の区別

上記の背景と先行研究にもとづき、筆者は日本語における性別的な言葉遣い、つまり女言葉男言葉について日本語母語話者はどう考えているか、また女言葉男言葉は実際に使用されているのか、されていないのかを確認したい。また、それについて日本語教育の現場できちんと説明を受けているとは言えないインドネシア人日本語学習者が捉えている女言葉男言葉とどのように違うかを比較し、明らかにしたい。

本研究では、インドネシア人日本語学習者と日本語母語話者を対象とし、アンケート調査を行った。調査内容として、小説から挙げられたセリフを 10 問あげ、回答者にそれは女ことばか男ことばかの区別をしてもらった。区別は、因（2003）による分類を参照した。それは順番に、[1] 女性語（F）、[2] 女性中性語（FN）、[3] 中性語（N）、[4] 男性中性語（MN）、[5] 男性語（M）という分類である。続いて、日常生活上での使用意識についても質問した。

10 問のセリフは星新一の『ボッコちゃん』と住野よるの『君の臍臓をたべたい』という小説から取り上げた。以下のようにリストした。

表1 本調査で取り上げたセリフリスト

	セリフと登場人物／話者の性別	コード (番号)
問1	「うーん。どこで失くしたんだろ.....昨日の夜、ジャージ着て走りにいったのは覚えてるん、だけ、どっ」(女)	1
問2	「.....なに、言ってるの。幽霊ってこと？」(女)	2
問3	「パトロールとか、通報する人間がいるわけでもないだろうし、適当適当。火でも焚かなきゃ大丈夫だろう」(男)	3
問4	「そんなこと言っても、無理よ。配達パイプですぐに手に入るのに、余分においておく家なんてないわ。それに、だれでもこんなことになるなんて、考えもしないもの」(女)	4
問5	「だけど、どうやって行くのだい。道路の電気だって止まっているのだから、自動車は動かないよ。歩いて行くっていったって、うちと同じことだよ」(男)	5
問6	「こんな天気の良い日に、君はどうして病院に来てるの？外でドッジボールでもしなよ」(女)	6
問7	「つまらないことを気にするのね。でも注意はするわ。今夜は、少しおそくなるかしら。そうなったら、帰るのは十四日の土曜日よ」(女)	7
問8	「そういえば、あなたはこのごろ、ずいぶんやさしくなったわね。ちっとも怒らなくなったじゃないの」(女)	8
問9	「英語なんかなんの役に立つのさ。そもそも学校で習うことなんて、なんの役に立つのさ。授業じゃ、大人になる方法だって教えてくれない」(男)	9
問10	「おまえはこんな所に出てきて、なにをするつもりなのだ」	10

上の問題を区別してもらった結果は次のようになる。インドネシア人回答者と日本人回答者をそれぞれの表に整理した。表中の数字は、各セリフで当該項目を何人が選んだかを示す。

表2 インドネシア人回答者による女言葉男言葉の区別の結果

番号	[1] F (女性語)	[2] FN (女性中性語)	[3] N (中性語)	[4] MN (男性中性語)	[5] M (男性語)
1	1	3	9	2	3
2	1	5	8	3	1
3	0	3	2	5	8
4	6	7	5	0	0
5	1	4	2	9	2
6	1	4	7	5	1
7	8	5	3	1	1
8	9	6	3	0	0
9	0	2	6	8	2
10	0	0	5	5	8

表3 日本人回答者による女言葉男言葉の区別の結果

番号	F (女性語)	FN (女性中性語)	N (中性語)	MN (男性中性語)	M (男性語)
1	4	2	6	0	0
2	1	6	4	1	0
3	0	0	1	4	7
4	11	0	1	0	0
5	0	2	3	2	5
6	1	0	8	1	2
7	10	1	1	0	0
8	10	1	1	0	0
9	2	0	4	5	1
10	0	0	2	3	7

上記のデータを分析するために、標準偏差を使った。標準偏差とは数字やデータがどの程度分散されているかを見る尺度である。これで、インドネシア人回答者と日本人回答者のそれぞれの回答の最も多いもの、つまり当セリフはどの分類だと考えているかだけでなく、そのばらつきの傾向も分かる。標準偏差を計算する前に、まずデータの平均値を確認しなければならない。次の計算は、本調査で得たインドネシア人回答者による問1の回答をデータとして使ったものである。これは、全てのデータをどう分析するか例として示す。

インドネシア人回答者の番号（セリフ）1の平均値：

$$\frac{[(1 \times 1) + (2 \times 3) + (3 \times 9) + (4 \times 2) + (5 \times 3)]}{18}$$

$$= \frac{[1 + 6 + 27 + 8 + 15]}{18}$$

$$= \frac{57}{18}$$

$$= 3.16$$

表4 データの平均値

番号	インドネシア人日本語学習者	日本語母語話者
1	3.16	2.16
2	2.88	2.41
3	4.00	4.50
4	1.94	1.16
5	3.38	3.83
6	3.05	3.25
7	2.00	1.25
8	1.66	1.25
9	3.55	3.25
10	4.16	4.41

各データの平均値を確認した。これで分かるのは、回答者は挙げられたセリフについて、因（2003）の 5 つ分類のうち、どれを選ぶ傾向にあるかである。例を挙げて説明すると、インドネシア人日本語学習者のセリフ 1 の平均値は 3.16 であるが、これは 1 から 5 までの正の得点のうち 3 に最も近いので、[3] の中性語になる。もちろん他の回答を選択した人もいたが、平均として、中性語を選んだ者が多かったということである。これが上記のデータの平均値表が示す意味である。

続いて、平均の値にデータがどの程度分散されているかを確認するため、標準偏差を使う。標準偏差が 1 であれば、データの値が 1 の分だけ離れており、0 であればデータの値が等しいと考えることができる。つまり、標準偏差が低いほど、データの値が似ている。詳しくは次の計算で説明する。

インドネシア人回答者の番号（セリフ）1 の標準偏差

$$\text{標準偏差の公式：}\sigma = \sqrt{\frac{\sum(X-\bar{X})^2}{n-1}}$$

$$\sigma = \sqrt{\frac{[(1-3.16)^2] * 1 + [(2-3.16)^2] * 3 + [(3-3.16)^2] * 9 + [(4-3.16)^2] * 2 + [(5-3.16)^2] * 3}{18-1}}$$

$$\sigma = 1.09$$

表 5 データの標準偏差

番号	インドネシア人日本語学習者	日本語母語話者
1	1.09	0.93
2	0.96	0.79
3	1.13	0.67
4	0.80	0.57
5	1.14	1.19
6	0.99	1.05
7	1.18	0.62
8	0.76	0.62
9	0.85	1.21
10	0.85	0.79

インドネシア人回答者のセリフ 1 の標準偏差は 1.09 である。つまり、平均値の 3.16、つまり [3] の中性語から値が 1.09 離れる。[3] の左右に 1.09 離れていくと、[2] の女性中性語と [4] の男性中性語に値が散らばる。要するに、セリフ 1 について、インドネシア人回答者の回答の傾向は女性中性語-中性語-男性中性語の範囲に入っていると言える。

最後に、両者の回答のばらつき具合、つまりそれぞれの回答の傾向はどの地点に当たるか、またその範囲はどれくらい広がるかを知るため、標準偏差の平均の値を計算する。

標準偏差の平均値：

$$\frac{(1.09 + 0.96 + 1.13 + 0.80 + 1.14 + 0.99 + 1.18 + 0.76 + 0.85 + 0.85)}{10} = 0.98$$

表 6 標準偏差の平均値

インドネシア人日本語学習者	日本語母語話者
0.98	0.84

インドネシア人回答者は 0.98 で、日本人回答者は 0.84 の平均値になる。ここで分かったのは、インドネシア人回答者より日本人回答者の方が少しばらつきが小さく、同じような回答が多かったということである。日本人回答者の方が数値が低いからだ。

5.2. 使用意識

女言葉男言葉の区別の他に、使用意識についても聞いてきた。質問の範囲は男女別表現を実際に聞いたことがあるかないか、もし聞いたことがあったらどこで聞いたか、続いて回答者本人が実際の会話で使うかという質問だった。まず、男女別表現を聞いたことがあるかかつどこで聞いたかについて、次の回答結果が出た。

表 7 男女別表現を聞いた経験の有無

	インドネシア人日本語学習者	日本語母語話者
ある	77.8%	91.7%
ない	22.2%	8.3%

表 8 男女別表現を聞いた経験の有無

どこで？	インドネシア人日本語学習者	日本語学習者
メディア	92.8%	50%
日常会話	–	40%
両方	7.2%	10%

上のデータから両方側も実際に男女別表現を聞いたことがあり、メディア上（アニメ、漫画、番組など）での経験が多い。しかし、日本人回答者の場合は日常会話でも聞いたり、使ったりすることも多いと分かった。一方で、インドネシア人回答者はメディアが圧倒的でありながら、日常会話のみから男女別表現を耳にした人いないと分かった。

それに加えて、実際の会話で男女別表現が使用されているのを耳にするか、また実際の会話で男女別表現が使用されていると思うかという質問についての回答結果は、次の表になる。

表 9 男女別表現の実際の使用についての意見

	インドネシア人日本語学習者	日本語母語話者
はい	94.4%	66.7%
いいえ	5.6%	33.3%

この結果から、インドネシア人日本語学習者は主にメディアで男女別表現を知ったものの、実際の会話でも使われていると思っているということが解釈できる。また、日本語母語話者の方も3分の2が同じ意見である。しかし、回答者本人が男女別表現を使うかどうかについては、次のように予想以外の結果が出た。

表 10 男女別表現の実際の使用についての意見

	インドネシア人日本語学習者	日本語母語話者
はい	38.9%	50%
いいえ	61.1%	50%

表 9 と表 10 を参照すると分かるように、インドネシア人日本語学習者は男女別表現を実際に使われていると思いながら、本人は使うという回答が意外と低い。一方で、日本語母語話者は半々だった。

6. 結論

本研究は、日本語学習者はどのように女言葉男言葉を理解しているか、という疑問を解明することと目的として、インドネシア人日本語学習者と日本語母語話者とで女言葉男言葉についての捉え方の意識には違いがあるということを仮定し、その検証を行った。その結果、両者の女言葉男言葉の理解についての意識はあまり違いがないということが分かった。その理由としては、今回の調査対象であるインドネシア人日本語学習者の大半は、学習期間が1年以上、日本語能力試験はN2合格者で、日本語の使用にある程度慣れており、女言葉男言葉に触れる機会がそれなりにあったからではないかと考えられる。

本研究で分かったことは、日本語における女言葉男言葉について、インドネシア人日本語学習者と日本語母語話者の間に大きな違いが見られないということであった。しかし、日本語母語話者の方が同じような回答をする者が多いことが分かった。つまり、日本語母語話者はいくつかの表現については男性語か女性語か等のどの分類に入るかははっきりと意識しているという傾向が見られた。

しかし、本研究で得たデータは筆者の仮定と違う部分があった。筆者は、アニメや漫画をきっかけにして日本語学習を始めたインドネシア人は日本語における女言葉男言葉について説明が不足しているため、理解ができていない上、実際の会話上で誤りが生じる傾向があると予測した。しかしながら、アンケート調査の結果を見ると、同意度の値（標準偏差の平均値）が日本語母語話者と近い上、使用意識についても日本語母語話者とあまり変わらない。

どうしてこの結果になったか仮説はいくつか考えられるが、その検証のためにも、インドネシア人日本語学習と日本語母語話者の女言葉男言葉の理解について引き続き研究が必要だと考えられる。

7. 今後の課題

本研究で得たデータは少し予想外だった。筆者は、女言葉男言葉について、インドネシア人日本語学習者と日本語母語話者の間にかなり大きな捉え方の差があるだろうと仮定したが、本研究ではそれがあまり見られないという結果だった。これについて筆者は、本調査に回答したインドネシア人は日本語学習期間1年以上、または日本語能力試験N2を持っているため、女言葉男言葉について多少把握していたと考えられる。また、どちらの回答者も女言葉男言葉についてじっくり考えたことがあまりないため、理解が深くできていないということも考えられる。

今後の課題として、本研究の目的がより達成できるように、まず調査対象を限定することが必要だと考えている。例えば、インドネシア人日本語学習者を日本語を学習しはじめたばかりの人々を対象することで、男女別表現に対する理解がより明確になると思われる。

8. 参考文献

水本光美 (2015) 『ジェンダーから見た日本語教科書—日本女性像の昨日・今日・明日』 大学教育出版

金水敏 (2011) 『役割語研究の展開』 くろしお出版

因京子 (2003) 「マンガに見るジェンダー表現の機能」 『日本語とジェンダー』 第3号, pp. 18-19
(https://gender.jp/wp/wp-content/uploads/2020/08/2003_NGG_journal_3_chinami.pdf)

2021年1月21日閲覧

中村桃子 (2012) 『女ことばと日本語』 岩波書店 pp. 3-9

鎌倉時代 https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/sekaiisan/documents/jh_booklet_e02.pdf

2021年7月27日 閲覧

標準偏差について <https://www.mathsisfun.com/data/standard-deviation.html>

2021年8月15日 閲覧

星新一 (1971) 『ボッコちゃん』 新湖社

星野よる (2017) 『君の臍臓をたべたい』 双葉社

2020年度 日本語日本文化研修留学生

	氏名	出身大学	受入教員
1	ユ ソン (YOO SEONG)	翰林大学 (韓国)	片岡 龍 教授 (文学研究科)
2	プスパラトゥ ウィディヤ (PUSPARATU WIDYA)	ブラウィジャヤ大学 (インドネシア)	副島 健作 教授 (高度教養教育・学生支援機構)

2020-2021 日本語日本文化研修留学生報告書

日本語・日本文化レポート集

2021年9月発行

東北大学 高度教養教育・学生支援機構
言語・文化教育センター

〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内 41

TEL 022-795-7578

FAX 022-795-7555

URL: <http://www.ihe.tohoku.ac.jp/SJLE/>